

輸送包装懇話会 平成30年度日程

平成30年度の開催予定です。

詳細については「輸送包装懇話会 NEWS」にて、会員の皆様にご案内いたします。

	第132回 講演会	第133回 講演会	第134回 見学会	第135回 講演会
日程・時間	7月6日(金) 13:30~17:30	9月14日(金) 13:30~17:30	11月頃を予定	平成31年2月1日(金) 13:30~17:30

平成29年度輸送包装懇話会活動実績

昨年度催した輸送包装懇話会の概要を紹介いたします。

例会開催日	テーマと講演要旨
第128回 講演会 7月7日(金)	<p>特集：新しい輸送の試み</p> <p>テーマ1：「青果物輸送用ワンウェイパレットの開発」</p> <p>講師：長崎県農林技術開発センター 荒木 誠 氏</p> <p>青果物の輸送では、収穫後の段ボール箱をドライバーがトラックに手積みし、長距離走行し、市場でまた人手で荷卸ししています。パレット輸送は回収の課題もあり、採用が進みません。ドライバーが減少する中、作業負担軽減の取り組みが急務である農林水産省の委託開発プロジェクトで開発された今回のワンウェイパレットは、リサイクル可能な発泡スチロールで、質量1.6kgながら耐荷重800kgで、国内の実輸送試験等、検証が進められています。国内外の青果物輸送での利用が見込まれるだけでなく、多くの産業で利用できる可能性もあり、今後の展開が期待されるお話でした。</p> <p>テーマ2：「最新技術を活用したドローンソリューション」</p> <p>講師：(株)ブイキューロボティクス・ジャパン 取締役 船津 宏樹 氏</p> <p>ドローンの応用は、設備の点検や監視、人命救助や捜索、測量や気象、交通、農薬散布や管理、空撮など幅広い活躍が期待されています。ブイキューロボティクス・ジャパンではドローンのサービスをパッケージ化して提供しています。ドローンの完全自動運用を目指す中、航空法や航行継続時間等の課題もあります。そこで自動充電やデータリンク、格納庫機能を備えたドローン基地「DRONEBOX」が開発され、さらにドローンと画像認識技術を組み合わせることで、製品や設備などの点検業務の完全自動化を目指すそうです。この技術は災害対策や防犯・警備、農業への活用が期待され、ドローンがより身近な存在になると感じました。</p>

<p>第 129 回 講演会 9月15日(金)</p>	<p>特 集：流通と人材 テーマ 1：「宅配事業の現状と今後の事業戦略」 講 師：佐川急便(株) 経営企画・広報・IT企画担当 取締役 川中子 勝浩 氏 営業開発部 部長 山本 将典 氏</p> <p>E C市場の急成長により、宅配便需要が急激に増加、且つ再配送や時間指定配達など、きめ細かなサービスが求められる中、ドライバー不足や、働き方改革への対応と、宅配事業各社が直面する現状が報告されました。お話では、ドライバー不足に対し、利便性を当たり前のように享受する、我々消費者の姿勢にも問題の一端を感じました。このような問題への対応策として、同社はB to Bへのシフトや、適正運賃の収受などでの打開の試みが紹介され、競合他社との差別化と相互補完も紹介されました。また宅配便業界からの視点で、現状の包装仕様や包装部材に対する悩みや問題点も指摘され、一包装設計者として、宅配便配送にも配慮した包装設計の必要性を感じました。</p> <p>テーマ 2：「コンテナ輸送のリスクと回避策」 講 師：東京海洋大学 大学院 教授 渡邊 豊 氏</p> <p>コンテナ輸送のリスクには、インシデント（意図的行為）とアクシデント（事故）があります。インシデントは個人的な私怨からテロに至るまで、広範囲に及び、その対策に ISO 28000 が有効ですが、工場管理体制の抜け穴による安全神話崩壊のシナリオには衝撃を感じました。一方アクシデントでは、乗用車が容易に曲がるカーブも、コンテナトレーラーは半分の速度で横転するなど、重心バランスを考慮した運転の必要性を実感しました。コンテナの横転には原理があり、事故回避の育成が必要としながらも限界があること、そのリスクを回避する重心検知装置を利用した運転の必要性も考えさせられました。</p>
<p>第 130 回 講演会 11月30日(金)</p>	<p>特 集：検 疫 テーマ 1：「植物を輸出入する際の注意点（植物検疫制度について）」 講 師：(一社) 全国植物検疫協会 君島 悦夫 氏</p> <p>テーマ 2：「植物検疫と木材梱包」 講 師：横浜植物防疫協会 事務局長 真崎 誠 氏</p> <p>ヒアリやセアカゴケグモ等、「検疫」の重要性を、出席一同が感じた講演でした。</p> <p>第一部は、輸出入に関わる検疫は植物検疫・動物検疫等の検疫項目のうち、輸送包装に関わる検疫に対する基礎知識と対応、また輸入に関する項目について我々が知っておくべきことのお話をいただき、新たな知識財産になると感じました。</p> <p>また第二部は輸送包装の梱包材の講演で、機械や工業製品等の包装の木材梱包材は対象で、検疫病害虫の国際間移動を防止する国際植物防疫条約で「国際貿易における木材梱包材の検疫措置」が取り決められ、多くの国が運用する「植物検疫処置に関する国際基準」(ISPM No.15) の内容と処理方法が説明され、基礎から理解ができました。更に最新情報として 2018 年 2 月 1 日から導入される、ニュージーランドが船舶を経路した AGM（アジア型マイマイガ）規制の事前対処方法も説明がありました。</p>

**第 131 回
見学会**

平成 30 年
2 月 6 日(火)

見学先：宇宙開発研究機構（JAXA） 筑波宇宙センター

JAXA は宇宙開発で使用している試験設備を一般産業界、企業にも開放しています。利用できる試験設備は、我々が包装の評価でも使用する大型、小型振動試験設備の他、加速度試験設備、真空試験設備、電波試験設備、EMC 試験設備、磁気試験設備、音響試験設備等があり、自動車・鉄道・船舶関係の利用が多いとのことでした。実際に設備を目の当たりにすると、宇宙開発が目的であることから、スケールの大きさに驚かされました。そして国際宇宙ステーション（ISS）への物資輸送に使われる宇宙ステーション補給機「こうのとりのり」は、究極の輸送包装であることに気づかされました。

輸送包装懇話会では、選任された幹事が、輸送包装の領域で、通常の研究会からさらに一步踏み込んだテーマを検討・選定しています。

次ページに平成 26 年度から 28 年度に開催した輸送包装懇話会のテーマを紹介いたしますが、会員の皆様からの「こんな話が聞きたい」「こんな場所の見学をしたい」といったご意見・ご提案も常時受け付けております。

お受けした要望は、翌期のテーマ選定の際、候補として検討させていただきますので、遠慮なく幹事、または事務局までお知らせください。

平成28年度～26年度 輸送包装懇話会活動実績

開催回/日	テーマ	講師
第127回 H29.2.10	特集：包装資材“紙” ①段ボールの機能化について ②青果物包装に関する全農の取組みについて	・レンゴー(株) 小野 嘉則 氏 ・全国農業協同組合連合会 鈴木 富隆 氏
第126回 H28.12.8	見学先：トヨタ L&F カスタマーズセンター東京	・トヨタ L & F 東京(株)
第125回 H28.9.16	特集：新技術の導入事例と提案 ①輸送包装におけるCAEを活用した包装設計・評価技術開発 ②費用対効果を高める3Dプリンタの選定と運用	・三菱電機(株) 横山 彰久 氏 ・武藤工業(株) 堤 尚之 氏
第124回 H28.7.1	特集：輸送環境と測定 ①コンテナ内の温湿度変化のメカニズムと対策 ②実輸送環境の計測事例	・(株)MTI 高橋 寿和 氏 ・(一社)日本海事検定協会 斎藤 威志 氏
第123回 H28.2.17	①保険会社から見た物流損害の防止 ②トラックの振動と車両技術	・損害保険ジャパン日本興亜(株) 生貝 友哉 氏 ・日野自動車(株) 榎本 満 氏
第122回 H27.11.24	①最新の物流システム・機器について ②家電製品の包装改善・今後の備え	・(株)ダイフク 鳥谷 則仁 氏 北本 尚樹 氏 ・三菱電機(株) 武田 正臣 氏
第121回 H27.10.6	見学会：日本郵便(株) 川崎東郵便局	・日本郵便(株)
第120回 H27.6.24	①マイクロフルートの最新技術動向 ②段ボール原紙の開発動向と包装資材総合的な取り組みについて	・(株)クラウン・パッケージ 八木野 徹 氏 ・王子産業資材(株) 林 裕一郎 氏
第119回 H27.3.13	①青果物の品質を守るための包装技術と輸送環境計測 ②Eコマース包装における課題と取り組み-消費財小売業界の事例を中心に	・(独法)農業・食品産業技術総合研究機構 北澤 裕明 氏 ・DHL サプライチェーン(株) 武田 一哉 氏
第118回 H26.11.5	①講演会：包装設計に生かす輸送環境の計測と解析のポイント ②見学会：羽田クロノゲート	・エクサーチ(株) 高木 雅広 氏 ・ヤマトホールディングス(株)
第117回 H26.9.9	①振動試験の条件適正化を目指した“輸送環境調査”および“試験条件導出法”の紹介 ②大型PET飲料カートン 鉄道輸送の擦れ防止対策	・大阪府立産業技術総合研究所 津田 和城 氏 ・キリンビバレッジ(株) 吉井 孝平 氏
第116回 H26.6.25	①段ボール箱の胴ぶくれに及ぼす含水率の影響 ②レーザーマーキングによる包装材のコストダウン及び新しい意匠表現の提案	・レンゴー(株) 東山 哲 氏 ・京セラドキュメントソリューションズ(株) 瀬戸上 裕 氏